



酒井大史市長 所信表明

市民に寄り添う 優しい社会環境をつくる

5つのコンセプトと50の政策

9月25日に開かれた令和5年第3回市議会定例会にて酒井大史市長が所信表明を行いました。その一部を抜粋しています。全文は市ホームページをご覧ください。

立川市長選挙の結果、多くの市民の皆さんからご信任をいただき、第23代の立川市長として私の愛するまち立川市のかじ取りを担わせていただくこととなりました。民意をしっかりと受け止め、全身全霊、全力で務めさせていただきます。選挙を通じて、5つのコンセプトを柱にし、50の政策を明らかにしてまいります。

コンセプト1

親や子の希望や 安心を支える

政策 ▽小学校給食の無償化▽保護者の負担軽減・急な残業にも対応する送迎保育ステーションを設置▽子育て応援アプリの導入▽学童保育所待機児童の解消▽病児保育のためのベビシッター補助▽子育て世帯の国民健康保険料負担軽減▽中高年のひきこもり対策▽全ての【ケアラー】支援体制構築▽不妊治療への支援▽ひとり親家庭等安心サポート事業の拡充▽子どもたちの【生きるチカラ】を育てる教育の推進▽AIを活用した個別最適化学習の実施▽いじめ・虐待対応強化【子どもの声を受け止める相談事業】等の拡充▽不登校児・生徒への支援強化

.....

政策 ▽小学校給食の無償化 市民からの要望もひときわ高く、子育てしやすい立川を目指す私の公約の中でも主要な政策であります。来年度の予算編成において特別枠として予算に計上するよう指示しました。

コンセプト2

健康と豊かな心で 生きる力を応援する

政策 ▽フレイル予防の推進▽がん患者の生きる力を支援▽【ソーシャルインパクトボンド】導入等によるがん検診受診率向上とPSA検査など検診事業の拡充▽歯科検診の受診勧奨▽高齢者補聴器購入助成制度の導入▽自殺者対策の推進▽交通不便地域・高齢者の移動手段の検討(ぐるりんバスの活用)▽障がい児・者の移動支援事業利用範囲を拡充▽専門職による終活・おひとり様【あんしん相談】事業導入▽アール・ブリュットたちかわによる文化・芸術の推進▽みらいアートファームたちかわ構想▽スポーツを通じた心身の健康増進・地域活性化の推進▽ボール遊び出来る公園の推進(ルールの明確化)

コンセプト3

環境の地域循環で 市民と企業を守る

政策 ▽小中学校における太陽光発電及び蓄電池の設置を加速▽高断熱住宅建設促進と既存住宅省エネ改修工事促進のための固定資産税減額制度の拡充▽公共工事におけるリサイクル資材

利用の促進▽公共施設の建替え更新時にはZEBの視点を導入▽フードロス削減と食の確保を支援▽錦町下水処理場の活用▽ドッグランの設置▽PFAS問題 都や近隣自治体との協力強化で対応▽産業振興計画の策定▽JR南武線 羽田空港へダイレクトアクセス構想

のできる地域社会を実現するためにも、条例の制定を進めます。

コンセプト5

市民の目線で 市役所経営を極める

政策 ▽行政のDX化推進、行政手続き・窓口業務を市民目線で徹底見直し▽外部人材の積極的な任用・活用▽広報シティプロモーションの推進▽新たな財源の確保【返礼品なしのふるさと納税の実施】(仮称)果実運型寄付基金制度の構築▽公契約条例の制定(地域貢献企業優先発注、雇用環境改善)▽若者会議の設置▽市民が市政に積極的に参加できる機会の拡大▽多様性を尊重し、様々な人権を守るための条例や施策を展開

コンセプト4

防災・安全の 質と量を高める

政策 ▽子どもの安全を守るため【子ども用GPS】発信機購入助成▽立川駅周辺の体感治安の向上▽災害時の避難所や避難ルートへの再検討▽災害時医薬品確保体制の再構築▽犯罪被害者等基本条例の制定

実現に向けて

政策のなかには丁寧な説明や議論を尽くすべき課題もありますが、市民の皆さん並びに議員各位のご理解もいただきながら可能な限りスピード感を大切に取り組みます。

